

新年あけましておめでとうございます。

三寶院へ参詣出来ない時は、同じ日時、同じ志で、自宅の御本尊様向かい勤行唱題して下さい。

## 常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【1月2月度の御金言】正月の一日は日のはじめ月の始めとしのはじめ春の始め、これをもてなす人は月の西より東をさしてみつがごとく、日の東より西へわたりてあきらかなるがごとく、とくもまさり人にもあいせられ候なり。

『十字御書』(1491頁)

### 法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲載

☆ 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。

南無妙法蓮華經の御題目は、【南無】は、帰依、帰命、つまり信じるという意味です。

【妙法】は、私達の様な迷いの心、ずるい心、悪い心、ねたむ心、卑しい心等々を持っている凡夫でも仏に成る事が出来る法を示すことが、全ての仏の目標であり大願であり、その事を唯一解明し説いているのが法華經であります。ですから、法華經には、法華經以前の御經では許されなかった、【悪人成仏】【女人成仏】【畜生成仏(人間以外の全ての生命の成仏)】【逆縁成仏】【小善成仏(妙法蓮華經の法に縁しただけで謗法罪障消滅の年月を経て、いずれ必ず成仏する)】が説かれ、一切衆生平等成仏の法が完璧に完成するのであります。つまり、私達の生命の根源が説かれているのであります。阿弥陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来、観音菩薩等々の私達の生命の外に存在する仏を本尊として信じるので無く、私達の生命の根源そのものを本尊として信じる。そして、この法こそが、阿弥陀如来、大日如来、薬師如来、釈迦如来、観音菩薩等々が修行の挙句悟って仏になった、仏の中味なのであります。故に、日蓮大聖人は、一切衆生はこの南無妙法蓮華經の法に縁す

る為に生まれ、この南無妙法蓮華經の法を口、意、身の三業に実行し成仏する為に生きる事こそが、どんなに立派な功績、業績を成した人生よりも大切な事であると説かれているのであります。その事を譬えて、その可能性を【爪の上の土】と表現されているのであります。

自分の遊ぶ時間、趣味の時間、仕事の時間、生活の時間を減らしてまで信仰はしたくない。信仰と言っても、朝晩の勤行はしたくない。法事や葬式の時ぐらいに、お坊さんがいて、その時ぐらいは御経を読んどけば、一応信心している事になるだろう。信仰を人生の中心にはしたくない。あくまでも自分中心の人生にしたい。信仰に自分の人生を浸食されたくない。と、考えている人たちが沢山います。しかし、自分の知恵で、自分が生まれてきた意味を見出す事、永遠常住の生命の大切さを見出す事が出来るでしょうか？私達凡夫の知恵では、欲望に支配され迷うばかりで無理なのであります。

時間が有り余っている人だけが信心しているのではなく、朝1時間、晩1時間の勤行の時間を確保する為に、生活時間の中の3分、5分の時間をかき集め、見たいテレビ、だらだら時間を、毎日毎日かき集めて、はじめて信仰の基本である勤行を続けて行く事が出来るのであります。気が向いた時、暇な時だけ勤行しようという信仰では無いのであります。この、毎日朝夕勤行をするという事だけでも、子や孫に信心を継いで貰えない原因になっていると思いますが、これは必要不可欠で省く事は出来ません。信仰は、当然、自分中心ではなく、南無妙法蓮華經中心なのですから、その大切さを継いでもらうことが、法燈相續なのであります。

南無妙法蓮華經の法を【口】で唱え、南無妙法蓮華經の法が何かを学び【意】心に意識し、南無妙法蓮華經の生き方を【身】を持って実行する。全て自分自身の為、配偶者、子や孫の為、一切衆生の為なのであります。